

肺がん検診に関する 検討の経緯等について

平成26年3月27日
厚生労働省健康局
がん対策・健康増進課

肺がん検診のあゆみ

昭和62年	がん検診に肺がん・子宮体部がん・乳がん検診を追加
平成10年4月	老人保健法に基づかない事業と整理 がん検診等に係る経費の一般財源化
平成15年12月	厚生労働省に「がん検診に関する検討会」を設置
平成20年3月	がん検診に関する検討会報告 「肺がん検診の見直しについて」 (対象年齢、検診間隔、検診項目の変更無し)
平成20年4月	健康増進法上(第19条の2)の健康増進事業として がん検診を位置づけ

市区町村による肺がん検診の項目等

厚生労働省においては、「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」を定め、市区町村による科学的根拠に基づくがん検診を推進。

対象年齢	検診間隔	検診項目
40歳以上	年1回	問診、胸部エックス線検査及び喀痰細胞診 [※]

※喀痰細胞診の対象者は、問診の結果、原則として50歳以上で喫煙指数(1日本数×年数)600以上の者(過去における喫煙者を含む。)及び6月以内に血痰のあった者のいずれかに該当することが判明した者とする。

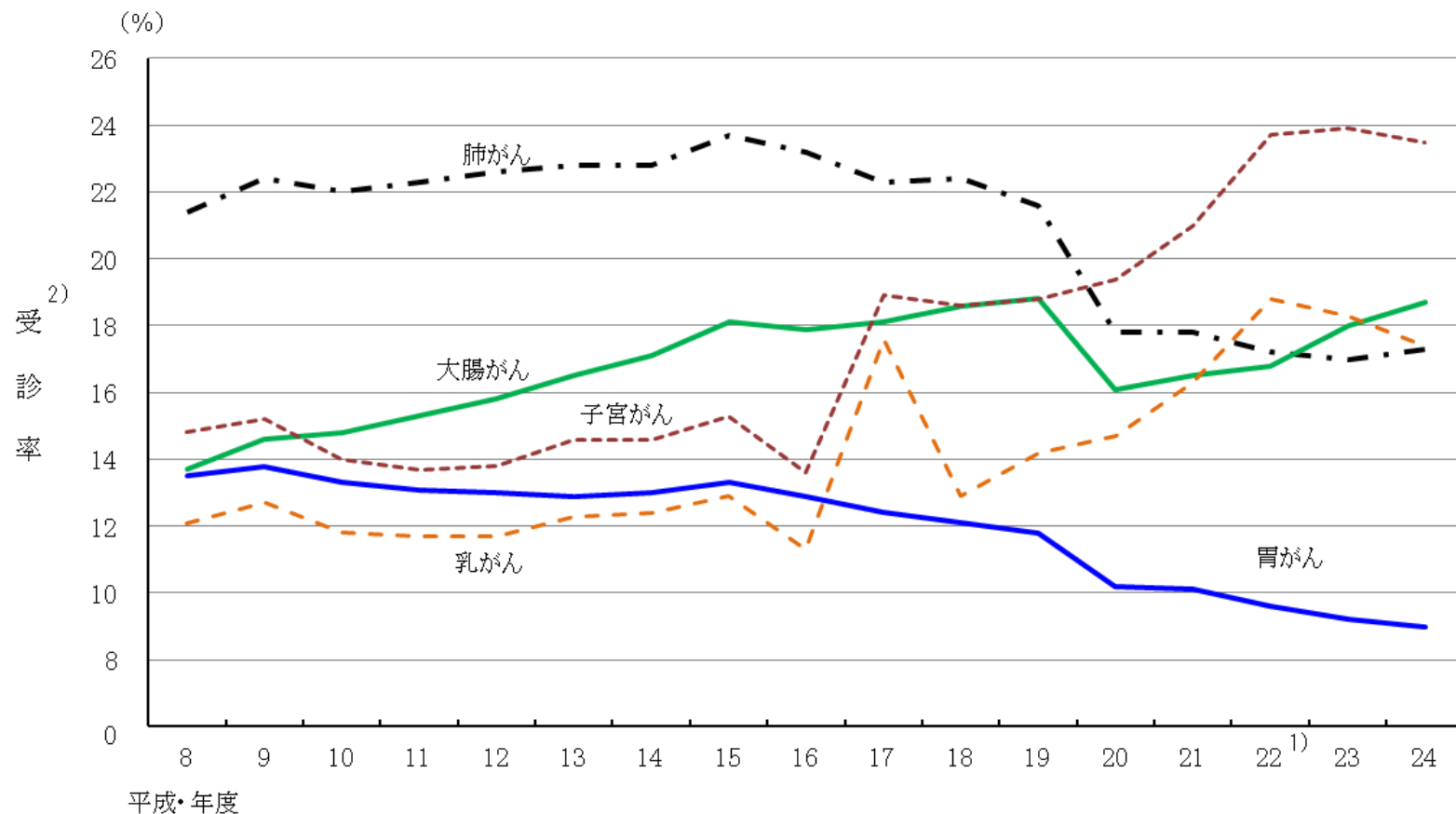
市区町村による 肺がん検診の受診者数等(平成24年度)

	受診者数	要精密検査者数	要精検率	がんであった者	陽性反応的中度	がん発見率	未受診	未受診率	未把握	未把握率	精密検査受診率※
総数	7,090,163	175,742	2.5%	3,927	2.2%	0.055%	14,972	8.5%	22,495	12.8%	78.7%
40～49歳	634,052	6,823	1.1%	43	0.6%	0.007%	696	10.2%	1,096	16.1%	73.7%
50～59歳	870,810	13,864	1.6%	150	1.1%	0.017%	1,376	9.9%	1,843	13.3%	76.8%
60～69歳	2,422,832	53,835	2.2%	1,131	2.1%	0.047%	4,426	8.2%	6,538	12.1%	79.6%
70歳以上	3,162,469	100,339	3.2%	2,603	2.6%	0.082%	8,474	8.4%	13,018	13.0%	78.6%

出典：平成24年度地域保健・健康増進事業報告より作成

※精密検査受診率(%) = 100% - (未受診率 + 未把握率)にて計算した。

がん検診受診率の推移 (地域保健・健康増進事業報告)



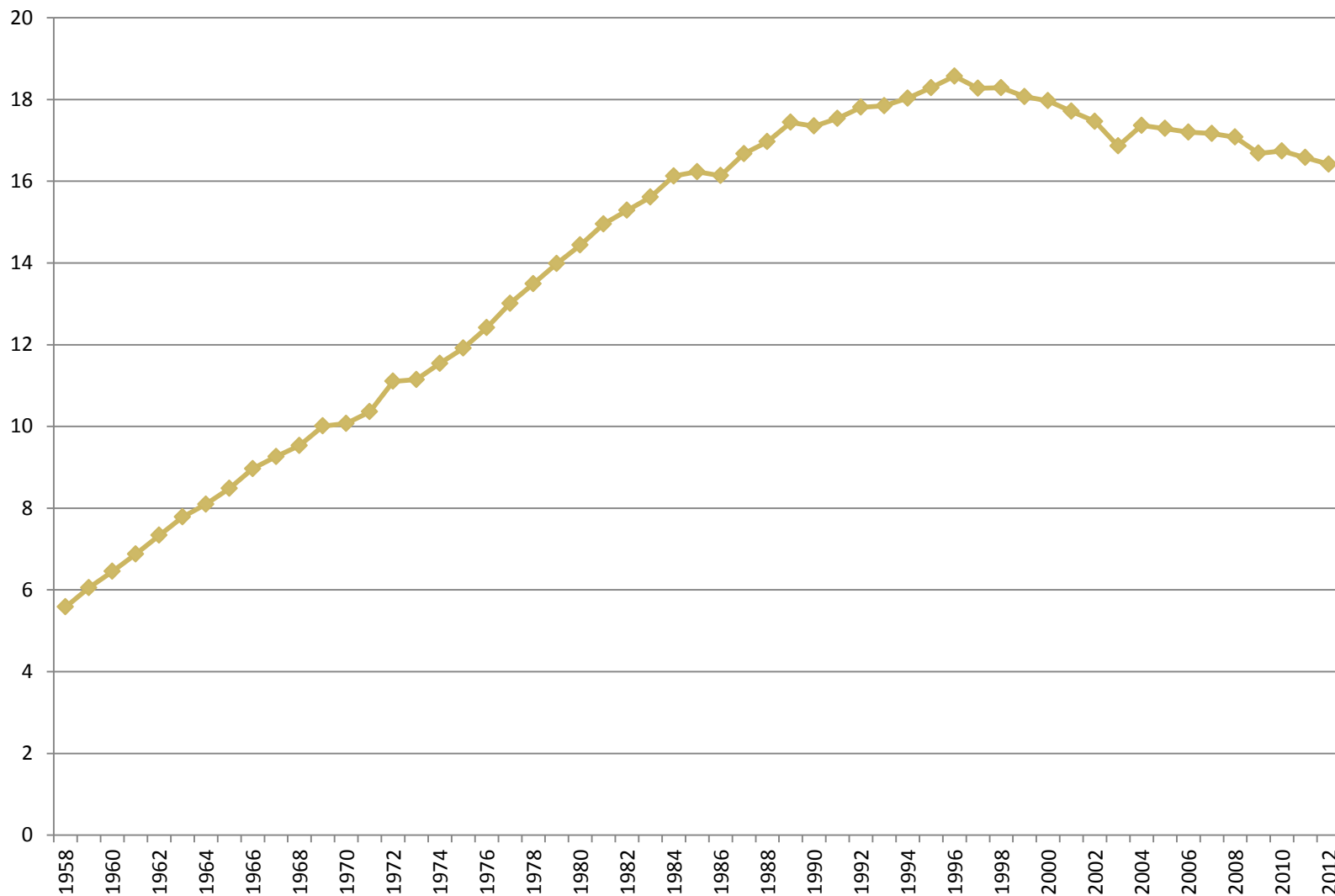
注：「受診率」については、24～26頁「IV 用語の解説」参照。

1)平成22年度は、東日本大震災の影響により、岩手県の一部の市町村（釜石市、大槌町、宮古市、陸前高田市）、宮城県のうち仙台市以外の市町村、福島県の一部の市町村（南相馬市、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、飯館村、会津若松市）が含まれていない。

2)受診率は、計数が不詳の市区町村を除いた値である。

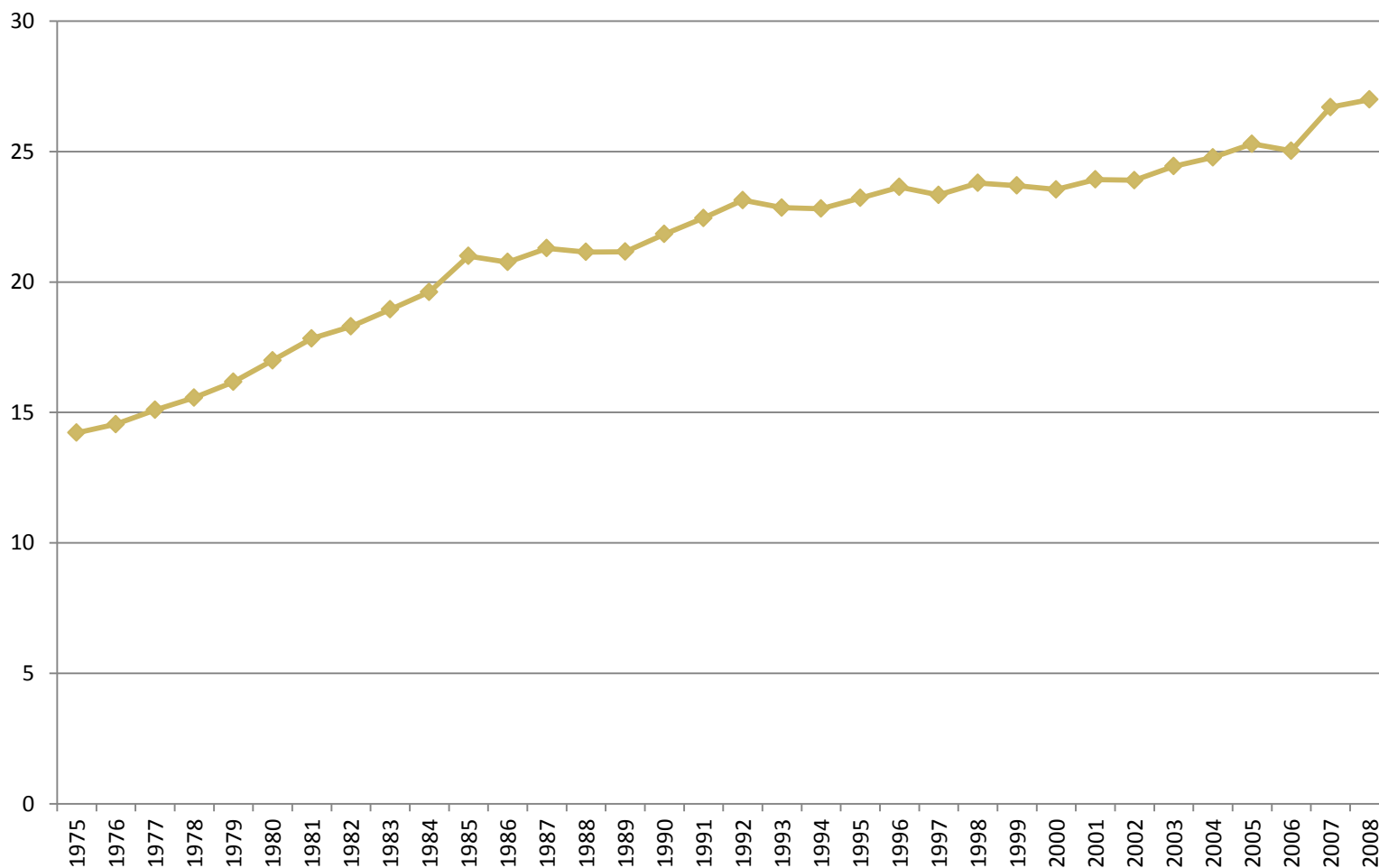
肺がん年齢調整死亡率

対人口10万人



出典:国立がん研究センターがん対策情報センター がん情報サービス/人口動態統計

肺がん(上皮内がん含まず) 年齢調整罹患率



出典: 国立がん研究センター がん対策情報センターがん情報サービス